

令和5年
10/9
(月・祝)
13:30-16:00



中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究シンポジウム

がんの約1割は遺伝因子によって生じる遺伝性腫瘍であると考えられています。遺伝性腫瘍の原因となる遺伝子を調べることでがんの予防や治療に結びつけることが可能な場合があるものの、わが国の遺伝性腫瘍に関する医療体制や社会体制は十分とはいえません。中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究の参加施設では協働して遺伝性腫瘍に対する取り組みを行っています。

開催形式：現地会場300席およびウェビナー（いずれの会場も申し込み必要）

参加費：無料（どなたでもご参加いただけますが、講演内容には専門的な内容が含まれます。お申し込み時に「登録に際してのご注意事項」に同意が必要です。）

会場
岡山大学
共育共創コモンズ
(岡山大学津島キャンパス)



会場アクセスはこちらのQRコードから

13:30-13:40 開会の挨拶



中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究について

平沢 晃

(岡山大学学術研究院医歯薬学域 臨床遺伝子医療学分野)

第1部

13:40-14:30 特別講演



遺伝情報を知ること
救える命をがんから守る

中村 祐輔

(国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)

【共催】ミリアド・ジネティクス合同会社

座長：
那須 保友
(岡山大学学長)



第2部

14:45-15:15 招請講演



遺伝性腫瘍症候群の多遺伝子パネル検査(MGPT)の米国における現状と課題

三戸 芳子

(マウントサイナイ医科大学遺伝ゲム科)

15:15-15:35 講演



遺伝性腫瘍に見られるVUSに対する
多次元機能的アノテーション

細野 祥之

(岡山大学学術研究院医歯薬学域 薬理学)

15:35-15:55 講演

遺伝性腫瘍における健康管理支援ツールの開発
～当事者のお守りアプリを目指して～



藤田 裕子

(姫路赤十字病院)



山下 範之

(岡山大学
医療教育センター)

AMED 令和5年度ゲム創薬基盤推進研究事業「遺伝性腫瘍に見られるVUSに対する、包括的in vivoスクリーニングとin silico構造解析を融合した高精度機能的アノテーション」(研究開発代表者 細野祥之)

15:55-16:00 閉会の挨拶



前田 嘉信

(岡山大学病院長
岡山大学学術研究院医歯薬学域 血液・腫瘍・呼吸器内科学)

【総合司会】



永谷 たみ
(姫路赤十字病院)



浦川 優作
(神戸市立医療センター
中央市民病院)

【参加お申し込み】

下記URLまたは右のQRコードより参加登録をお願いいたします。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_s6LNfCrwT6eHRd6rS4XX_A

ご入力いただきましたメールアドレスにウェビナー-聴講URLをお送りします。会場参加をご希望の方にも自動で配信されます。



【主催】岡山大学学術研究院医歯薬学域 臨床遺伝子医療学分野 / 中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究グループ / NPO 法人せとうち臨床遺伝研究会

【お問い合わせ先】 岡山大学学術研究院医歯薬学域 臨床遺伝子医療学分野 e-mail : cgm@okayama-u.ac.jp